

教科目名 国語総合 (General Japanese)

学科名・学年 : 全学科 2 年

単位数など : 必修 2 単位 (前期 1 コマ, 後期 1 コマ, 授業時間 46.5 時間)

担当教員 : 竹内乃里子

授業の概要			
1 年次に引き続き、高等学校用の 4 単位用の検定教科書を使用する。国語を的確に理解し、適切に表現できる力を身につけることを目指す。現代文では、複雑な社会の中におけるコミュニケーションのための、伝え合う力を身につけることを、古文漢文では、先人の優れた文章・詩歌から、今につながる価値観や感性を読みとることを目指す。			
達成目標と評価方法			大分高専目標 (C1)
(1) 現代文 (随想・短歌・俳句・小説・評論) に親しみ、読解や鑑賞の基礎を身につける。(定期試験と提出課題)			
(2) 古文・漢文の読解の基礎力を身につける。(定期試験と提出課題)			
(3) 文章の内容や部分的な個所の間に対して的確に文章にまとめる表現力を身につける。(定期試験と提出課題)			
(4) 同訓異字・同音異義語、四字熟語、難読語、慣用句などの基礎的な国語力を身につける。(定期試験と小テスト)			
回	授 業 項 目	内 容	理解度の自己点検
1	随想 2 「待つということ」	○随想を読んで、筆者のものの感じ方や人生観を読みとる。 ○人間と自然とのかかわりや、社会の中で生きるということなどについて考える。 ○日本の代表的な和歌集の中の歌を読み、伝統的なものの感じ方を読みとる。 ○同訓異字・同音異義語、四字熟語を学ぶ。	【理解の度合い】
2	随想 2 「里山物語」		
3	随想 2 「りんごのほっぺ」 (1)		
4	随想 2 「りんごのほっぺ」 (2)		
5	古文・詩歌「万葉集・古今和歌集」		
6	古文・詩歌「新古今和歌集・梁塵秘抄」		
7	古文・詩歌「閑吟集・近世俳句」		
8	前期中間試験		【試験の点数】 点
9	前期中間試験の解答と解説	○近代短歌を鑑賞し、古典的な和歌との違いや近代的な感覚を読みとる。 ○俳句を鑑賞し、日本人の季節観の在り方や独特な表現方法を学ぶ。 ○漢文の史話を読み、歴史上の偉人の生き方を知る。 ○四字熟語、難読語を学ぶ。	【理解の度合い】
10	短歌・俳句「その子二十・春風や」 (1)		
11	短歌・俳句「その子二十・春風や」 (2)		
12	漢文・史話「魏武捉刀」 (1)		
13	漢文・史話「魏武捉刀」 (2)		
14	漢文・史話「王昭君」		
15	前期期末試験		【試験の点数】 点
	前期期末試験の解答と解説		
16	小説 3 「沖縄の手記から」 (1)	○沖縄戦のことを筆者が回想して書いた文章であるから、当時の特殊な状況を考え合せながら、登場人物の心情を読みとって行く。今生きていることの意味を考える。 ○古文の歴史物語を読み、戦乱の中で生きた人々の数奇な人生を知り、文章の特徴や美しさを味わう。 ○難読語、諺・慣用句を学ぶ。	【理解の度合い】
17	小説 3 「沖縄の手記から」 (2)		
18	小説 3 「沖縄の手記から」 (3)		
19	古文・物語「木曾の最期」 (1)		
20	古文・物語「木曾の最期」 (2)		
21	古文・物語「木曾の最期」 (3)		
22	古文・物語「木曾の最期」 (4)		
23	後期中間試験		【試験の点数】 点
24	後期中間試験の解答と解説	○評論を読んで、その内容を的確に理解し、筆者の主張を読みとる。 ○現代社会の抱える問題について考える。 ○論語を読んで、孔子の儒学の基本的な考え方を知る。 ○諺・慣用句、漢字の書き取り・読み方を学ぶ。	【理解の度合い】
25	評論 2 「美しさの発見」 (1)		
26	評論 2 「美しさの発見」 (2)		
27	評論 2 「自己基準と他者基準」		
28	漢文「論語」 (1)		
29	漢文「論語」 (2)		
30	後期期末試験		
	後期期末試験の解答と解説		
履修上の注意	課題プリント等の提出物は指示に従い、必ず提出すること。		【総合達成度】
教科書	三角洋一他、「新編 国語総合」 東京書籍		
参考図書	「カラーワイド新国語要覧 増補第四版」大修館書店		
自学上の注意	授業で扱ったプリントは、ファイルに閉じておくこと。		
関連科目	現代文、地域日本文学、日本語表現法		
総合評価	達成目標の (1) ~ (4) について、4 回の定期試験と提出課題・小テストで評価する。総合評価 = $0.8 \times (4 \text{ 回の定期試験の平均点}) + 0.2$ (提出課題・小テスト)。総合評価が 60 点以上を合格とする。再試験は、総合評価が 60 点に満たない者に対して実施する。		【総合評価】 点